

インフルエンザ予防接種

一部

料金助成が受けられる 協力医療機関

6か月児から全市民が対象となる季節性インフルエンザ予防接種料金の2,000円助成について、協力医療機関をお知らせします。医療機関によっては、妊婦の方や年齢によって接種できない場合もありますので、ご注意ください。

このほかにも、接種できる医療機関がありますので、詳しくは仙北市ホームページまたは接種する医療機関、仙北市保健課にお問い合わせください。



協力医療機関の一覧はコチラから

下記表の対象者

- ① 満6か月児～小学生
- ② 中学生
- ③ 高校生
- ④ 妊婦
- ⑤ 19歳～64歳
- ⑥ 65歳以上(60歳以上65歳未満の慢性高度心肺腎機能不全者、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいがある方を含みます。)

協力医療機関名	対象者						電話番号	住所
	①	②	③	④	⑤	⑥		
仙北市								
市立角館総合病院	○	○	○	○	○	○	54-2111	角館町岩瀬3
市立田沢湖病院	1歳以上	○	○	×	○	○	43-1131	田沢湖生保内字浮世坂17-1
市立西明寺診療所	3歳以上	○	○	○	○	○	47-2123	西木町門屋字道目木319-1
仙北市国保神代診療所	3歳以上	○	○	○	○	○	44-2118	田沢湖神代字野中清水216-4
今村内科循環器科医院	×	○	○	○	○	○	53-2510	角館町田町上丁3
おおさわ胃腸科内科クリニック	○	○	○	○	○	○	52-1133	角館町中菅沢92-20
大野医院	3歳以上	○	○	×	○	○	53-2066	角館町東勝楽丁17
鬼川医院	○	○	○	○	○	○	54-2061	角館町田町下丁17
佐藤医院	○	○	○	○	○	○	54-2055	角館町下新町13
耳鼻咽喉科 菅原医院	3歳以上	○	○	○	○	○	54-2052	角館町田町上丁65
野々部外科内科医院	小学生以上	○	○	○	○	○	54-2337	角館町田町上丁52-1
かとうファミリークリニック	○	○	○	○	○	○	43-2123	田沢湖生保内字浮世坂74-1
高橋医院	1歳以上	○	○	○	○	○	43-1515	田沢湖生保内字街道ノ上65
橋本整形外科医院	×	×	○	×	○	○	54-1255	田沢湖小松字城廻91-2
大仙市								
大曲中通病院	×	○	○	○	○	○	0187-63-2131	大仙市大曲上栄町6-4
大曲厚生医療センター	○	○	○	○	○	○	0187-63-2111	大仙市大曲通町8-65
石井内科胃腸科医院	○	○	○	○	○	○	0187-56-7300	大仙市長野字新山70-1
羽後長野駅前内科	○	○	○	○	○	○	0187-42-8255	大仙市長野字柳田59
滑川医院	○	○	○	○	○	○	0187-56-3121	大仙市長野字九日町15-1

11月 献血のお知らせ 11/1回

病気やケガなどで輸血を必要としている患者さんの尊い生命を救うため、献血のご協力をお願いします。

▶ 10:00～16:00
(受付 10:00～11:45、13:00～16:00)
タカヤナギワンダーモール店

大腸がん検診のお知らせ

11月から単独で行う大腸がん検診が始まります。まだ検診を受けていない方は、ぜひこの機会に受けましょう。

日程

期日	受付時間	場所
11月15日(日)	9:30～11:30	西木総合開発センター
11月16日(月)	10:30～12:30	田沢湖総合開発センター
11月17日(火)		健康管理センター
11月23日(月)祝	9:30～11:30	神代就業改善センター
11月24日(火)	10:30～12:30	健康管理センター
11月29日(日)	9:30～11:30	田沢湖総合開発センター
11月30日(月)	10:30～12:30	西木総合開発センター
12月6日(日)	9:30～11:30	健康管理センター

対象 40歳以上の方

料金 500円

次の方は無料です

- ▶ 「大腸がん検診の研究(比較試験)」に参加されている方
- ▶ 仙北市国民健康保険の方
- ▶ 後期高齢者医療保険の方
- ▶ 70歳以上の方
- ▶ 生活保護世帯の方
- ▶ 世帯員全員が市民税非課税世帯の方

内容

便潜血検査(事前に採便容器に2日分採便してください)

平成21年度から「大腸がん検診の研究(比較試験)」を実施しています。研究に参加される方は、健康アンケートの提出と便潜血検査(2日分の便検査)にご協力をお願いします。

注意点

2日分の採便ができない場合は検診を受けることができません。

採便容器は仙北市保健課・各地域センター・各出張所でも配布しています。日中に取りに来られない方は、郵送でも対応しますのでご連絡ください。



シリーズ～第2期けんこう仙北21計画 重点分野 がん検診～
年々増加している 大腸がん 年に1回、便潜血検査を!

がんによる死亡数の第2位

大腸がんにかかる人数は、この35年でおおよそ6.5倍に増え、胃がんに次いで日本人のがんによる死亡数の第2位を占めています。その原因としては、食生活の欧米化、高齢化、ストレス社会などがあげられ、患者数は急増しています。

また、がんは日本人の死亡原因の第1位であり、その中でも、大腸がんは女性の死亡原因の第1位、男性の第3位となっています。

治りやすいが、見つかりにくい

大腸がんは、自覚症状が非常ににくいがん種で、早期の段階では無症状であることが多く、ある程度がんが進行して出血したとしても、なかなか異常に気づきにくいという特徴があります。



年に1回、検診を

自分で異常を感じない無症状のうちに、大腸がん検診の「便潜血検査」を受け、便の中に血液があるかどうかを判断する必要があります。ぜひ、年に1回、検診を受けましょう。

11月から大腸がんの単独検診が始まります。今年度受けていない方は、ぜひこの機会に検診を受け、がんの早期発見に努めましょう。

自己判断はしない

「便潜血検査」の結果、精密検査となった場合は、「痔があるから」「排便時に出血するから」などと自己判断せずに、必ず医療機関を受診して詳しい検査を受けましょう。

生活習慣を見直しましょう

大腸は食べ物を消化する働きがあるため、食生活の影響を受けやすい器官です。日頃からバランスのよい食事や運動習慣を心がけて過ごしましょう。